

道スポ協第1041号
令和2年6月16日

各管内スポーツ少年団連絡協議会会長 様
各市町村スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人北海道スポーツ協会
北海道スポーツ少年団
本部長 宇佐美 暢子
(職 印 省 略)

緊急事態宣言解除後におけるスポーツ少年団活動の留意事項について (依頼)

平素より、本道のスポーツ少年団活動に対し、種々のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
北海道では、5月25日に新型コロナウイルス感染にかかる国の「緊急事態宣言」が解除され、6月から徐々に学校活動も再開されており、また『新北海道スタイル』の実践による生活様式の段階的緩和が進められております。

少年団活動においても、この度の「緊急事態宣言」の解除に伴い、活動を再開している単位団もあることと思いますが、活動再開にあたりましては感染拡大予防のため、下記の事項に留意方お願い致します。

記

1. 子どもたちへの衛生管理については、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」(別紙)を参考に衛生管理に努めること。
2. 活動にあたっては、令和2年4月14日付道スポ協第1011号文書「新型コロナウイルス感染症対策に伴う少年団活動について(依頼)」において通知しておりました「運動部活動における活動等の留意事項」(別紙)を基本として団員の健康チェックに努めること。
3. 活動の自粛期間において、運動不足になっている子どもたちもいると考えられることから、十分な準備運動を行うとともに、十分な練習期間を経ないうちは身体に過度な負担のかかる活動を避けるなど、団員の怪我の防止には十分に留意すること。
4. 生活様式の段階的緩和に伴い、練習試合・大会などを開催する場合は、各中央競技団体が作成している「スポーツイベントの再開に向けたガイドライン」を参考に実施すること。

◆公益財団法人日本スポーツ協会 HP:

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>

(生涯スポーツ課)

保護者の皆様へ

「学校の新しい生活様式」がはじまります。
皆様のご理解とご協力をお願いします。

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～学校の新しい生活様式～（2020.5.22Ver.1）」（文部科学省）より



北海道スタイル

新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く、有効性が確認されたワクチンも存在しないため、私たちは、長期間、この新たな感染症とともに社会で生きていかなければなりません。

そのため、感染リスクはゼロにすることはできないという事実を前提として、子どもたちの健やかな学びを保障していくために、学校においても「3つの密」を徹底的に避ける「新しい生活様式」を導入し、感染のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を行ってまいります。

「学校の新しい生活様式」のポイント

基本的な対策



- 手洗い** は、流水と石けんで、こまめに、丁寧に（30秒程度）行います。
- マスク** は、児童生徒及び教職員ともに、常時着用します。
※熱中症の心配があるときや体育の授業等では外す場合もあります。
- 換気** を、定期的に行います。※教室内の温度は適切に管理します。
- 消毒** は、1日1回以上、手でよく触れる場所や教具を消毒液で清拭します。
- 身体的距離**（座席配置）を、可能な限り1～2メートル確保します。
- 発熱などの**風邪症状がある場合は、自宅で休養**させてください。
※その場合、「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として取り扱います。

【各自に必要な持ち物】

清潔なハンカチ・ティッシュ、マスク、マスクを置く際の清潔なビニールや布等

感染症の学習

- 子どもたちが、新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、
- 自分から**感染リスクを避ける** ことができるよう指導します。
- 差別や偏見のない適切な行動をとる** ことができるよう指導します。

臨時休業等の判断

- お子様に感染等の事由が生じた場合は、**出席停止等**の対応を行います。
※詳しくは、裏面をご覧ください。
- 保健所等の助言を受け、学校内での活動の状況や地域の感染拡大の状況を踏まえ、**臨時休業の必要性や規模（学級単位、学年単位、学校全体）等を判断**します。

学校生活に不安を感じた場合は、いつでも学校や相談窓口にご相談ください。

※「子ども相談支援センター」 ☎：0120-3882-56（24時間無料）

E-mail：doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

運動部活動における活動等の留意事項

【屋外で活動する運動部活動】

No.	部活動名	運動の特性に応じた留意事項	共通の留意事項
1	陸上競技・駅伝	—	<p>【活動前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、生徒の健康観察等を行うとともに、体調の優れない生徒は参加させないこと ・更衣室は時間差で使用するなど、狭い空間での接触は避けること ・屋外で更衣する際でも、互いに距離をとること <p>【活動中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は生徒から距離をとって指導するとともに、簡潔な指示となるよう工夫をすること ・長時間の活動は避けること ・準備運動や整理運動はペア等では行わず、一人で行うこと ・集団でのランニング等は避けること ・大きなかけ声などの活動等は避けること ・練習中、順番を待つ際は、互いに距離をとること ・複数人が使用する器具等については、定期的に消毒すること ・水分補給のためのボトルなどは個人で用意し、回し飲みはしないこと <p>【活動後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに接近したミーティング等は避けること ・ボール等の使用後の定期的な手洗いを徹底すること <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水飲み場の衛生管理に努めること ・物置や部室等の利用は、必要最小限とし、換気をこまめに行うこと ・マスクの着用が可能な練習メニューでは着用を推奨すること ・マスクの着用がない場合にはタオル等を準備し、咳エチケットの徹底を図ること
2	サッカー	・敵味方の接触がある状態での攻防の練習は避けること	
3	野球・ソフトボール	・塁に走者をおいての牽制等の練習は避けること	
4	ラグビー	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラムやタックルなどの身体接触を避けること ・仲間との距離をとったパス練習など、練習方法を工夫すること 	
5	テニス・ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ・練習中（ボール拾い等も含め）は、仲間との距離を十分にとること ・準備や片付けの際は、最小限の人数で話をしないで行うこと ・ダブルスでの練習は避けること 	
6	ホッケー	・対人で向き合って行う練習は避けること	
7	自転車競技	・室内で練習する際は、複数での練習は避けること	
8	アーチェリー	・行射（弓で矢を打つこと）、待機、回収時には他人と十分な間隔をとること	
9	カヌー・ボート	—	
10	ヨット	—	
11	登山	<ul style="list-style-type: none"> ・登山活動の休憩時には2m程度の距離をとること ・野営技術（テントの設営及び調理練習）では必要以上の接触がないよう注意すること ・テントでの複数人数の宿泊は当面の間、見合わせる 	
12	スキー	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッジの利用は、他の利用者からの距離をとり、できる限り短時間とすること ・ゴンドラは使用しないこと 	

【屋内で活動する運動部活動】

No.	部活動名	運動の特性に応じた留意事項	共通の留意事項	
1	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との身体接触を伴う練習は避けること ・対人で向き合っている練習は避けること 	<p>【活動前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、生徒の健康観察等を行うとともに、体調の優れない生徒は参加させないこと ・更衣室は、時間差で使用するなど、狭い空間での接触は避けること <p>【活動中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、生徒から距離をとって指導するとともに、簡潔な指示となるよう工夫をすること ・長時間の活動は避けること ・準備運動や整理運動はペア等では行わず、一人で行うこと ・集団でのランニング等は避けること ・大きなかけ声などの活動等は避けること ・練習中、順番を待つ際は、互いに距離をとること ・活動場所が狭く、順番待ち等で密集した状態が起こる場合は、時間をずらして一度に活動する人数を減らすなどの工夫をすること ・複数人が使用する器具等については、定期的に消毒すること ・水分補給のためのボトルなどは個人で用意し、回し飲みはしないこと ・活動場所の換気をこまめに行うこと <p>【活動後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに接近したミーティング等は避けること ・ボール等の使用後の定期的な手洗いを徹底すること <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水飲み場の衛生管理に努めること ・マスクの着用が可能な練習メニューでは着用を推奨すること ・マスクの着用がない場合にはタオル等を準備し、咳エチケットの徹底を図ること 	
2	ハンドボール			
3	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットの準備や片付けの際は、最小限の人数で話をしないで行うこと 		
4	バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットや台の準備など片付けの際は、最小限の人数で話をしないで行うこと 		
5	卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・ダブルスの練習は避けること 		
6	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・練習前後はシャワーを十分に浴びること 		
7	体操競技・新体操	<ul style="list-style-type: none"> ・補助を必要とする練習は避けること 		
8	柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・対人で密着した状態で行う練習は避けること ・一人で練習方法を工夫すること <p>※当該種目に必要な体力を高める運動、素振り等の攻防に必要な動きを高める運動、ゴムチューブやダミー人形などを用いた打ち込み練習等、礼法の練習、ICT機器を活用した技術理解を深める練習など</p>		
9	剣道			
10	なぎなた			
11	相撲			
12	レスリング			
13	空手道			
14	少林寺拳法			
15	フェンシング			
16	ボクシング			<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーやサンドバックを用いた練習にとどめ、スパーリングは避けること
17	弓道			<ul style="list-style-type: none"> ・指導する際に距離をとること
18	ウエトリフティング	<ul style="list-style-type: none"> ・補助が必要な練習は避け、安全を確保するためのラック等を使用すること ・保護者の承諾を取ること ・仲間との距離は2m程度を空けること 		
19	アイスホッケー	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックなどの身体接触を避けること ・対人で向き合っている練習は避けること 		
20	スケート	—		